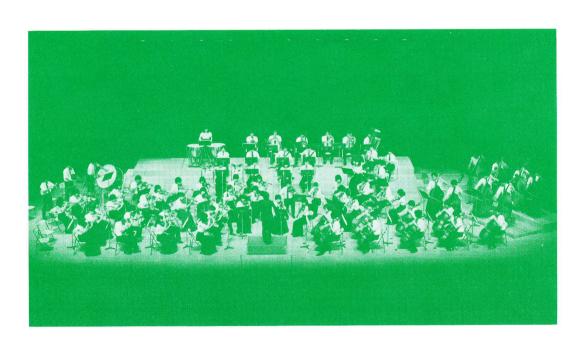


神戸文化大ホール 59.7.4/5



神戸大学交響楽団

指揮野 村 秀 彦 荒 木 浩 一

神戸市·神戸市教育委員会

プログラム

これが音楽 ………… 中 村 八 大

ハンガリー舞曲第5番 ………… ブラームス

シンコペーティッド・クロック …… ルロイ・アンダーソン

交響詩「フィンランディア」 ………… シベリウス

楽器紹介

ボ レ ロ ラヴェル

一分間指揮者コーナー

ラデッキー行進曲 …………… ヨハン・シュトラウス I 世

喜歌劇「こうもり」序曲 ………… ヨハン・シュトラウス II 世

交響曲第8番へ長調より

第1,2,4,楽章 ………… ベートーヴェン

曲目解説

●これが音楽

これはいわゆる「クラシック」ではありませんが、オーケストラはクラシックだけを演奏するのではないことも知ってもらおうと、とりあげました。

この曲は合唱曲として(作詩・永六輔,作曲・中村八大)よく知られた曲で,音楽の 教科書にもしばしば登場します。

●ハンガリー舞曲第5番

ブラームスは19世紀ドイツの生んだ偉大な作曲家の一人です。「ハンガリー舞曲集」は彼の友人のバイオリニスト、レメーニの助言で作られたピアノ連弾曲集で、今日ではオーケストラ用に編曲されたものが広く演奏されています。中でもこの第5番は有名です。

●シンコペーティッド・クロック

●踊る仔猫

ルロイ・アンダーソンは、「トランペット吹きの休日」などで知られるアメリカの作曲家で、ボストン・ポップスオーケストラの指揮者、編曲者をしながら、数多くの楽しい小品を残しました。

今日,演奏する二曲は,それぞれ,少し調子のくるった時計(シンコペーティッド・クロック),楽しそうに踊る仔猫たちをユーモラスに表現しています。

●交響詩「フィンランディア」

森と湖の国フィンランドが生んだ大作曲家シベリウスは、古典の形式に民謡をとり入れた北欧風の独特な作風で世界に知られています。中でもこの「フィンランディア」は国民音楽の典型作として有名で、フィンランド政府が国民讃歌に推挙したほどです。

●ボレロ

フランスの作曲家ラヴェルは、印象派を受けつぎ、色彩豊かな知的な曲を作りました。 この曲は有名なバレリーナ、イダ・ルービンシティンのために書かれたバレエ曲で、全 曲単純なメロディーのくり返しですが、次第に楽器の数を増し、大きな起伏を描いて高 潮していきます。

●ラデッキー行進曲

「ワルツの父」ヨハン・シュトラウスI世の作ったこの曲は、数あるマーチの中でも特に有名なものです。ラデッキーというのは、オーストリアの将軍で、彼の戦勝を記念してつくられました。

なお、19世紀初期に盛んになったワルツは、ウィーンから流行が始まり、ウィーン型ワルツは父ヨハン・シュトラウスI世などによって始められ、子のヨハン・シュトラウスII世(「ワルツ王」)によって最高の人気を得ました。

●喜歌劇「こうもり」序曲

オペレッタ(喜歌劇)「こうもり」は、シュトラウスのもつともポピュラーな代表作で、筋がおもしろいだけではなく、音楽もおもしろく、ウィーンでは毎年暮に必ず上演される名オペレッタです。

この序曲は、そのオペレッタの中からもっとも美しいさわりだけを寄せ集めて編んだ もので、序曲だけが非常によく演奏される名曲となっています。

●交響曲第8番へ長調より 第1,2,4,楽章

人類の生んだ最大の音楽家といわれるベートーヴェンは、9曲の交響曲を残しました。 これらを表現様式の上から見ると、ロマンチックな傾向の強いもの(第三「英雄」、第五 「運命」、第六「田園」、第七)と、古典交響曲の型をとったもの(第一、第二、第四、第 八)とに大きく分けることができますが、楽想と技巧の円熟した点で、第七はロマンチック傾向の交響曲、第八は古典交響曲の双璧をなすものとなっています。